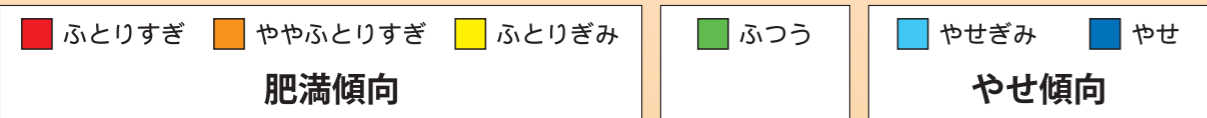
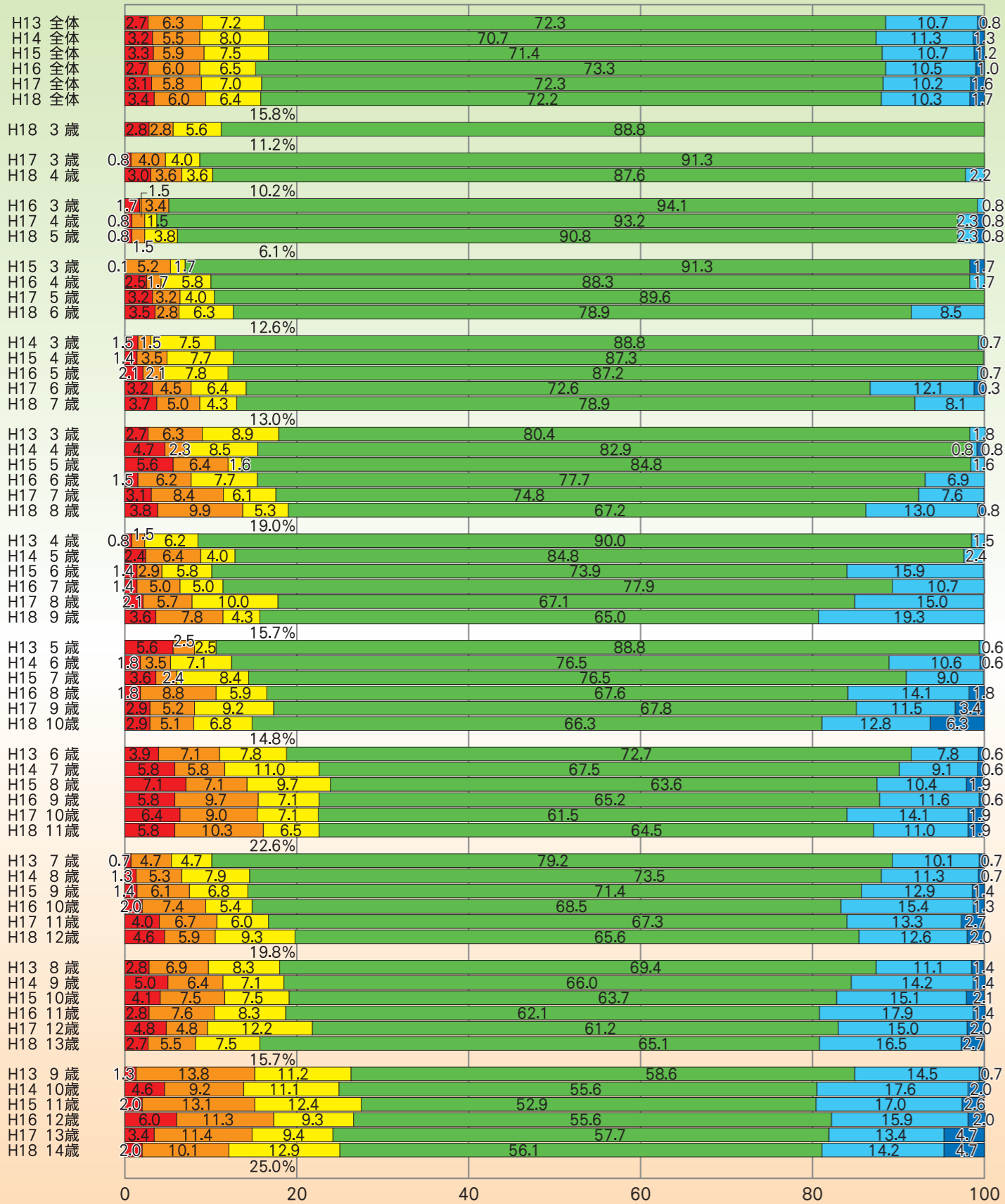


肥満状況について



☆年齢が上がっても「肥満傾向」の子どもの割合は変わらない。
 ☆「肥満傾向」の多い学年は「やせ傾向」も多い。
 ☆「ふとりすぎ」は医師に相談が必要な子どもである。

鶴田町
 朝ごはん運動推進本部
 子どもの生活リズム向上推進委員会

鶴田町の子どもたちのすがた

●平成18年度 「食生活等状況調査」より●

この調査は、朝ごはん条例の基本方針「ごはんを中心とした食生活の改善」「早寝・早起き運動の推進」と子どもの生活習慣の現状把握のため、町内の保育所・幼稚園・児童館・小中学校と町（朝ごはん運動推進本部・子どもの生活リズム向上推進委員会）が連携して、3歳以上15歳未満の「子どもたち」の状況について保護者の方に記入していただいた結果です。

	対象者数	回答者数	回収率
幼児	367人	341人	92.9%
小学生(低)	434人	434人	100.0%
小学生(高)	471人	469人	99.6%
中学生	451人	437人	96.9%
合計	1,723人	1,681人	97.6%

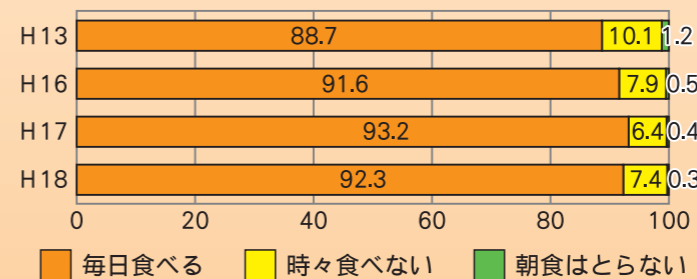


特徴

- ①朝食は「毎日食べる」が少し減っている。
- ②朝食でよく食べるものは、主食では「ごはん」や「パン類」となっている。主菜、副菜、汁など全ての品目で食べる割合が増えている。
- ③朝食で「親を含む家族」と食べている（共食）割合が増え、「子どもひとり」で食べている（孤食）割合が減っている。
- ④朝食を食べない理由では「食べたくない」が多く、特に幼児に多い。
- ⑤起床時刻は「6～7時」の割合が増えている。
- ⑥排便を「毎日する」子どもは7割となっている。
- ⑦テレビを見る時間は「決めていない」が多い。
- ⑧ゲームは幼児では「しない」が多いが、小中学生では4人中3人はしており、時間は「1～2時間」が5割となっている。
- ⑨幼児では箸を「持ち方も正しく使える」割合は4割となっている。
- ⑩「肥満傾向」の割合は変わらない。「肥満」の多い年齢は「やせ」も多い。

朝ごはんについて

●毎日食べますか。



◆「毎日食べる」が減っている。



☆町全体で見ると、「毎日食べる」は平成17年に比べると0.9ポイント減っている。
 ☆年代別で見ると、幼児は「毎日食べる」が92.7%と1.3ポイント、小学生(低)は93.5%と2.2%ポイント、小学生(高)は91.9%と2.7ポイント減っている。
 ☆中学生は91.1%と2.7ポイント増えている。